

2022 年度 静岡県高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会(全部門) 特別競技規則

開催日:2月11日(土)

開催コース:静岡カントリー浜岡コース 小笠コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭、ウォーターハザードはすべてラテラルウォーターハザードとし、赤杭にて境界を標示する。
2. 修理地は、白線または青杭をもってその境界を定める。ただし、次のものを含む。
(a)スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキング(スタンスへの障害は除く)。
(b)クローズド(Closed)の標示のある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地とする。
3. No.1, No.2, No.17 において第 1 打が OB の場合、特設ティより第 4 打にてプレーしなければならない。
4. No.3, No.4, No.5, No.9 において、第 1 打がペナルティーエリア(レッド、イエロー)内にボールが入った場合、前方の特設ティより第 3 打にてプレーすることができる。
5. No.10 において、レッドペナルティーエリアにボールが入った場合、前方のドロップゾーンより一打罰にてプレーしなければならない。
6. 排水溝、管理道路は修理地扱いとし、樹木の支柱、支線、一時的な堆積物、マンホール、砂箱等は動かせない障害物とする。
7. カート道路上の球、スタンスは規則 24-2b の救済を受けなければならない。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
8. ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I (C)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。
9. スルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域において、球が打球の勢いで地面に食い込んでいる時は罰なしに球を拾い上げ、その位置にできるだけ近く、かつホールに近づかない個所にドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる)。
10. グリーン上では、パター以外のクラブの使用を禁止する。

競技の条件

1. 参加資格 プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。
2. 委員会の裁定 委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用クラブの規格 (a)『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I (C)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。
4. 使用球の規格 『公認球リストの条件・付属規則 I (C)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。
5. ゴルフシューズ 正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。
6. プレーの中断と再開
 - (1)通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
 - (2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によるプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格となる。険悪は状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるよう要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取り消しとすることがある。
 - (3)プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 競技委員が巡回して指示をする。

陰悪な気象状況による即時中断 : 競技委員が巡回して指示をする。

プレーの再開 : 競技委員が巡回して指示をする。

7. 競技の短縮 委員会が、コースの状態が適正なるプレーが不可能と判断したときには、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

8. 競技終了時点 競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技特別規則に追加または変更のあるときは、クラブハウス内およびスターティンググラウンドに掲示して告知する。
2. ルールブック(2019年度版)・目土袋・スコップ・グリーンフォークおよび、この競技規則は、競技開始から競技終了まで必ず携帯すること。また、大会の使用球全てに名前(フルネーム)と通し番号を記入することを義務づける。
3. 目土、グリーン上のディボット直しを怠り注意を与えられた者は、ペナルティーを科す場合がある。
4. プレーの進行をスムーズにするため駆け足を励行すること。前の組と1ホール以上間隔があいた場合、ペナルティーを課すことがある。
5. 故意にスコアの過少申告のあった者または、高校生としてあるまじき行為等があった場合は、連盟規定に照らし合わせて処置・処分する。
6. 服装は、日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定に準じる。
7. ゴルフはマナーとルールを最重要視するスポーツである。高校生として、スポーツマンとして好ましく言動を厳に慎むこと。
8. 茶髪・長髪・パーマント等高校生の品位を疑うようなヘアスタイルでの試合参加は、厳重に委員会で指導する。
9. 携帯電話(スマートフォン)はコース内に持ち込まないこと。使用は駐車場のみでクラブハウス内及びコース内は使用禁止。(ただし競技委員・運営委員等は緊急時使用することがある。)
10. No.4~No.5, No.11~No.12, No.18~クラブハウスへの移動はカート乗車で移動すること。手引きカートの使用は認めない。

令和5年2月
競技委員長
田村 径